








1. 多子世帯の保育料負担軽減について

●多子世帯の保育料負担軽減







- **年収約360万円未満世帯**について、現行制度で
 - ・1号認定子どもについては、小学校3年生まで
 - ・2・3号認定子どもについては、小学校就学前まで
 とされている**多子計算に係る年齢制限を撤廃し、第2子半額、第3子以降無償化を完全実施。**

年齢制限により第2子以降の負担軽減が限定的

例1 (1号認定子ども)		例2 (2・3号認定子ども)	
対象外  小学校6年生 ※小4以上はカウントしない		対象外  小学校3年生 ※小1以上はカウントしない	
(小3) ~ (小1)			
(5歳)	第1子の扱い  保育料 満額	(5歳)	第1子の扱い  保育料 満額
(4歳)		(4歳)	
(3歳)	第2子の扱い  保育料 半額	(3歳)	第2子の扱い  保育料 半額
(2歳)		(2歳)	第3子の扱い  無償
(1歳)		(1歳)	
(0歳)		(0歳)	



年収約360万円未満世帯は第2子以降の負担軽減を完全実施

例1 (1号認定子ども)		例2 (2・3号認定子ども)	
第1子  (小1~)		第1子 	
※多子計算に係る年齢制限を撤廃			
(5歳)	第2子  保育料 半額	(5歳)	第2子  保育料 半額
(4歳)	第3子  無償	(4歳)	
(3歳)		(3歳)	
(2歳)		(2歳)	第3子  無償
(1歳)		(1歳)	
(0歳)		(0歳)	

2. ひとり親世帯等の保育料負担軽減について

●年収約360万円未満のひとり親世帯等への優遇措置を拡充

⇒ 第1子の保育料を半額、第2子以降の保育料を無償化

○1号認定子どもについて

階層区分	現行 保護者負担額(月額)	現行の負担軽減 保護者負担額(月額)	負担軽減の拡充 保護者負担額(月額)
第2階層 市町村民税非課税世帯、 市町村民税所得割非課税世帯 (年収約270万円まで)	第1子 3,000円	0円	0円
	第2子 1,500円	0円	0円
第3階層 市町村民税所得割課税世帯 77,100円以下 (年収約360万円まで)	第1子 16,100円	15,100円(1,000円引き下げ)	7,550円(現行負担軽減後の半額)
	第2子 8,050円	7,550円(上記の半額)	0円(無償化)

○2・3号認定子どもについて

※下記の保護者負担額はすべて3歳以上児の保育標準時間認定の場合

階層区分	現行 保護者負担額(月額)	現行の負担軽減 保護者負担額(月額)	負担軽減の拡充 保護者負担額(月額)
第2階層 市町村民税非課税世帯 (年収約260万円まで)	第1子 6,000円	0円	0円
	第2子 3,000円	0円	0円
第3階層 市町村民税所得割課税額 48,600円未満 (年収約330万円まで)	第1子 16,500円	15,500円(1,000円引き下げ)	7,750円(現行負担軽減後の半額)
	第2子 8,250円	7,750円(上記の半額)	0円(無償化)
第4階層の一部 市町村民税所得割課税額 97,000円未満 (年収約470万円未満世帯 のうち年収約360万円未満世帯)	第1子 27,000円	27,000円(基準額表どおり)	13,500円(基準額表の半額)
	第2子 13,500円	13,500円(上記の半額)	0円(無償化)